

会議録（要点筆記）

会議名	第3回みやま市総合市民センター（仮称）管理運営計画策定委員会
開催日時	令和3年3月24日（水）午後2時～午後3時50分
開催場所	みやま市立図書館 2階 多目的ホール
会議次第	1 開会 2 議題 （1）第2回管理運営委員会会議録の確認について （2）管理運営計画案について 3 その他 4 次回の開催について 5 閉会
委員出席者	久保田委員、小野委員、熊川委員、山田委員、深町委員、森委員、藤吉委員、塚本委員、只隈委員、西田委員、松尾委員、金子委員、竹内委員
欠席者	田嶋委員
事務局	堤教育総務課長、宮川係長、森、市プロジェクトメンバー
同席者	日本設計 前田様
傍聴者数	3人
会議資料	・総合市民センター管理運営計画（案）

1. 開会

<堤教育総務課長より開会>

2. 小野委員長あいさつ

【委員長】 年度末ご多用の折、お集まりいただき誠にありがとうございます。本日の会議は、班に分かれての意見交換が主な内容となっております。皆さまの忌憚のない御意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

3. 議事

(1) 第2回管理運営委員会会議録の確認について

【委員長】 事務局より説明をお願いします。

<事務局より説明>

【委員長】 ただいまの説明に対しまして、ご意見ありませんか。

【委員】 なし

(2) 管理運営計画（案）について

【委員長】 議題の（2）からは、グループに別れてからの意見交換となっております。私も班に入り意見交換を行いますので、ここからの進行を事務局をお願いします。

【事務局】 それぞれグループに別れて意見交換をお願いします。グループには担当のプロジェクトメンバー2名入っております。主に書記を行います。ワークショップは概ね90分予定していますので、最後までよろしくをお願いします。施設的设计監理をいただいている日本設計前田様にも同席いただいておりますので設計内容に関することなどお尋ねください。

○Ⅰ・Ⅱ章（経緯、位置づけ、基本理念と基本方針）について

<事務局より説明>

<グループA>

【委員】 生涯学習の取り組み内容は。

【事務局】 高齢者向け教室や親子教室等です。

<グループB>

【委員】 新型コロナがまん延しているの、その時の状況がどうなっているか分からないが、感染防止の取り組みについても記述して良いのではないか。

【事務局】 検討します。

<グループC>

なし

○Ⅲ・Ⅳ章（利用形態、組織計画）について

<事務局より説明>

<グループA>

【委員】 ・舞台の高さより音響反射板の高さが2 m程高いがこれでよいか。
・文化協会ではホワイエをもっと利用したい。書道や絵画等で利用したい。
・多目的ホールの「スポーツ型利用」は平日の利用となるのか。
・移動式の「劇場型」と「スポーツ型」ということだが、うまくいくのか。

【事務局】 音響反射板の高さは問題ありません。多目的ホールの運用については、あくまで基本形を示しており、催し物などによって臨機応変に対応していく予定です。

<グループB>

【委員】 ・愛称募集について。ホール名称を地元企業からネーミング料などもらうような方法の検討はどうか。
・愛称募集は、多目的ホールだけなのか、市民センターの名称をネーミングライツしても良いのではないか。
・ネーミングライツも企業側にとってメリットがないと厳しい。メリットはないのではないか。
・利用申込に関して。申し込みをインターネットで出来るのか。久留米市は、申し込みはできないが空き状況の確認はインターネットで可能。申し込みまで出来たらよいが、出来なくても空き状況の確認ができるようお願いしたい。
・避難所としての運用について。備蓄庫があれば避難所としてのメリットはある。水・食料はあったほうが良い。
・周囲に公共施設もあるので、あえて備蓄庫の設置は不要。他施設と連携をとれば良い。
・利用申込、利用料金は、他の施設と同様にしてほしい。体協への加盟団体のメリットがあるように。利用料金はジュニアへの配

慮など行ってほしい。

<グループC>

- 【委員】
- ・休館日は月2日ではなく週1日（月曜日）を検討いただきたい。
 - ・ハザードマップには、当該施設が浸水地域になっているが対策がとれているか。

○V章（事業計画）について

<事務局より説明>

<グループA>

【文化・芸術】

- 【委員】
- ・高齢化する文化協会会員に対応した、事業や高齢者活用が課題。一方で、将来のみやま市のため、子ども向けの事業も考えていかなければならない。
 - ・多くの人が文化芸術に触れる機会の創出が必要。様々なジャンルの公演、自治体事業だけでなく、自主事業も検討していくべき。
 - ・NHK等の公開収録の応募を検討してはどうか。また、センターの開館記念事業の検討も必要。
 - ・先日、柳川市民文化会館で開催された、高校吹奏楽部の定期演奏会は、施設、音響も素晴らしかった。本市においても音楽祭を検討してはどうか。
 - ・春は総合市民センター、秋はまいピア高田でイベント開催を検討してはどうか。また、上庄出身の「長唄三味線」人間国宝の柘屋勝国氏の展示ブースを設置するなどどうか。
- 【事務局】
- 文化芸能の後世への継承は必要と考える。文化協会の発展も同様。自主事業等はまいピア高田で開催したような、大学の交響楽団の助成金を活用した企画などを検討したい。

【交流】

- 【委員】
- ・「まるごとみやま秋穫祭」などの開催とあるが、ホールで開催するのか。開催に協力するということか。
 - ・文化協会（高齢者）と若年層との交流を行いたい。芸能文化フェスティバルも小・中学生を募集しているが、高校生なども含めて交流できればいい。
 - ・ホワイエでは、フリーマーケット等イベントがないときは自習できるスペースがあるのか。
 - ・ボランティアルームの活用法は。
 - ・子育て支援事業はキッズルームだけでなくマルチルームも利用可能か。

- 【事務局】
- 実行委員会形式で開催している「秋穫祭」は、市民センターを

メイン会場として検討しています。その他イベントに関しては、マルシェやフリーマーケット等、市民が交流できる場の展開を検討していきます。また、ホワイエでは、自習できるスペースを検討しています。

ボランティアルームについては、ボランティア団体や福祉団体などの活動拠点として、使用していただく予定です。

子育て支援事業についてはマルチルームも利用可能です。

【スポーツ・健康】

- 【委員】
- ・①スポーツ振興事業で、筑後広域公園体育館等と連携したスポーツ大会の誘致とあるが、定員は大丈夫か。
 - ・ソフトバンクとの連携事業を追加したらどうか。
 - ・①スポーツ振興事業と関連付けて②健康づくり事業ができればいいのではないか。親子で体力づくり測定など色々なスポーツ体験事業など。
 - ・自主事業は市で企画するのか。

- 【事務局】
- ・連携事業については今後検討していくものです。事業企画については市だけでなく地域なども考えられます。

【3.貸館計画】

- 【委員】
- ・貸館計画の方向性が記されているが、対象は全諸室なのか。
 - ・感染症対策として、「水都やながわ」では、10人程で会場整理をしていた。かなり経費がかかると思われる。
 - ・事業実施において、通常もその程度のスタッフ人員は必要。従事するのは、アルバイト、ボランティア、学校だったら保護者だったりもする。

- 【事務局】
- 貸館計画における記述は、ホールと諸室含めたものです。

<グループB>

【文化・芸術】

- 【委員】
- ・ホワイエに地元作家の作品を常設するなど、施設のアクセントとして考えてみてはどうか。例えば、人間国宝の杵屋勝国氏、博多人形師で高田町出身の西山氏、陶芸家で瀬高出身の田島氏など。
 - ・収支の課題はあるが、作品展示については、地元文化の発展のため、外から作品を入れていくというのも良いのではないか。まずは、地元の活躍の方からやっても良いが。展示の常設も3カ月毎に変わっていったら、利用者もまた行こうと思うのでは。

【交流】

- 【委員】
- ・多目的ホールでの飲食が出来るのが前提じゃないと盛り上がりが違う。飲食できるというのがあった上で、マルシェが開催できるのが良い。

・アンビシャス活動の点では、夏休みなどの長期休みに大学生や地域の方などが、小学生に勉強を教えるなどの交流活動や自学自習支援も良いのでは。

・子育て相談日を設ける際に、導入された新しい制度なども、市役所に行きづらい人なども利用できるよう、相談ができる窓口を開設するのはどうか。

・婚活への取り組みも交流事業として取り組んではどうか。

・コロナ禍で困っている人もいる。生活困窮者の窓口などどうか。

・お母さんたちが行ってみようかなという施設じゃないと利用されない。子どもを見てくれる人がいて、お茶飲みながら気軽にという保育と相談などつながりのある形での実施が良い。

・交流事業として想定している3つの事業が連動し、つながりがある形が利用しやすいと思う。

【事務局】 建物における飲食の場所については今後検討していきます。

【スポーツ・健康】

【委員】 ・地域活動を推進するサポーターの育成について、地域から派遣要請が来ているが、十分な対応ができていない。もっと大きな枠組みで考えたほうが良い。

・スポーツ推進員へ体力測定の依頼があるが、日中の活動をサポートできるような人を養成していく取り組みが必要。

・ジュニアアスリートに限定せず、スポーツ選手による指導に触れて、スポーツへの理解を深めてほしい。

・ジュニアアスリートの支援とは別立てで考えてもいいのでは。

・地域福祉活動推進事業について。「コミュニティカフェづくり」というのは、ルフランカフェのように、市民が借りてできるような取り組みを考えてみていいのでは。どこかの特定のカフェを置いてしまうと、他のイベントの時に販売品に制約が入ることがある。

<グループC>

【文化・芸術】

【委員】 ・まいピア高田で実施している事業を総合市民センターに引き継いでもらいたい。

・異年齢が交流しやすい事業と施設整備を検討していくことが必要だ。

【交流】

【委員】 ・育児相談所の設置とは。

・つどいの広場については、市と連携しながら事業を展開していきたい。

・団体単独での交流事業展開は難しいので、他の団体と交流しながら活動していきたい。

【スポーツ・健康】

- 【委員】 ・草場、上長田、濃施地区でラジオ体操交流会があつている。ラジオ体操啓発のため今後の活動を検討していく必要がある。例としては、年1回講師を招いての講習会、ラジオ体操取組み発表会、意見交換会など。八女市、筑後市での活動を参考にしてはどうか。
- ・ボラ連の活動発表はどこで行うのか、今後検討が必要。

○VI・VII・VIII章（収入・収支の考え方、広報計画、その他）について
＜事務局より説明＞

＜グループA＞

- 【委員】 ・「1年前からの施設予約～」と記載されているが、工事の遅滞も念頭に、オープンから1、2カ月は市が押さえて、予定より余裕を持ってオープン2、3カ月後から予約を取るのがいいのではないか。また、見学会の開催も検討してほしい。
- 【事務局】 オープンが遅れた際、イベントによっては損害賠償請求の恐れも考えられますので、予約開始については慎重に検討します。

＜グループB＞

- 【委員】 ・貸館について。料金はリーズナブルであること、安心して使えるものであること。現在のコロナ禍での利用において、パーティションの設置、換気、一度に利用できる人数など、空き室状況を含め情報提供を検討されたい。
- ・広報、Webサイト（PC、スマホ、タブレット用）は必ず対応すべき。開館イベントは、「秋穫祭」と一緒にしてはどうか。多くの人の目に知れる。地域のイベントとのタイアップを検討してみてもどうか。
- ・記念公演を検討するなら、山川町南部校区原町区出身で日本スポーツ社会学の第一人者である立教大学の松尾哲矢先生を検討いただきたい。

＜グループC＞

- 【委員】 ・利用人数、利用内容に応じて市内3カ所の施設を使い分けるよう周知して欲しい。
- ・開館記念イベントに秋の収穫祭、福祉フェスティバルとタイアップし大々的なPRを実施してほしい。プレイベントでのど自慢大会を開催してほしい。
- 【委員長】 委員の皆さま、長時間にわたりご意見賜りありがとうございました。

4. その他

(その他グループワークでの意見)

○基本方針について

総合市民センター開館後も利用者の利便性を考慮し「つどいの広場事業」を
あたご苑においても開催してほしいという意見。

○設備・備品使用等

使用頻度が少ない備品は共用管理が効果的であるとの意見。

和室に折り畳み椅子の設置の要望。

トレーニングルームにシャワールーム有無の確認。

○収入・支出の考え方

委員よりキャッシュレス決済の導入を求める意見。

○開館までの運営と開館記念イベント

1週間分の案内板の設置要望。

○今後のスケジュール

秋穫祭、文化祭、福祉フェスタをまとめたらどうかの意見。

○避難所に関する意見

【日本設計前田】 多目的ホールで、2.5メートル枠で200人程度が寝そべって避難できる収容規模となっております。地震については耐震性のある建物です。

水害については、みやま市ハザードマップを確認すると最大3メートルが水没する記述となっている。1階部分が想定される。非常事態を避けるためには、2階へ緊急避難を誘導することになる。

5. 次回の開催について

○みやま市総合市民センター（仮称）管理運営計画策定委員会 第4回会議

○開催日 令和3年5月中で調整中

○会場 みやま市役所 会議室にて調整中

(午後3時50分 閉会)